

コンプライアンス委員会の活動報告

コンプライアンス委員会が開催され、コンプライアンス活動の実施状況が報告されました。

記

1. 開催日と場所

平成30年7月26日(木)、8月17日(金) 川西倉庫本社 役員会議室

2. 出席者

コンプライアンス委員会委員長

取締役(監査等委員含む)、コンプライアンス・オフィサー 15名

コンプライアンス事務局長 計17名

- 1) 食品衛生法のうち、各検疫所食品監視課による資料「平成30年度輸入食品等モニタリング計画並びに監視指導計画」を用いて、課内にて勉強会を行い、輸入食品における監視指導計画やモニタリング検査実施計画、食品等輸入届出に係る注意点について、課内にて周知を図った。
(4月24日大阪支店、名古屋支店、5月23日京浜支店)
- 2) 倉庫業法のうち、各地区倉庫協会主催の倉庫業務基礎研修会に参加し、保管・荷役業務の概要やその業務に係る料金の計算方法、契約の基礎等、倉庫業の基礎知識について理解を深めた。
(5月18日神戸支店・大阪支店、5月24日名古屋支店)
また、倉庫寄託約款の解説や約款に関するトラブル事例と解決方法を中心とする倉庫管理の実務について確認を行った。
(4月20日大阪支店)
- 3) 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律のうち、有機JAS講習会に参加し、有機認定/認証やJAS法等の概要、農産物/加工食品/飼料等の有機JAS規格等について説明を受けた。
(4月12日・13日神戸支店)
- 4) 家畜伝染予防法等のうち、動検検査対象貨物の取扱いについて手順書に基づき、取扱い計画や動検貨物指定場所への貨物搬入等について再確認し、各職場での周知を徹底した。
(4月19日京浜支店、5月25日名古屋支店、6月21日京浜支店)
また、畜産物の輸出検査説明会資料を用いて、輸出検査における変更点と手順について内容を確認した。
(6月5日大阪支店)
- 5) 関税法のうち、長期蔵置貨物管理手続について緊急勉強会を実施し、長期蔵置貨物報告書の運用ルールや取扱いと非違について関税法基本通達を用いて内容を再確認した。また、課所内にてその内容を周知するよう説明を行った。
(6月13日神戸支店)
- 6) 監査室は、継続して業務の適法性などについて各課所の監査を実施している。リスク管理面からみて不適切な事案については、改善指導を行い、フォローアップも実施している。
- 7) 社内のコンプライアンス通報/相談窓口および弁護士事務所窓口(川西CPホットライン)への期間中の利用および通報はありません。